

2019 年度

大津市協働提案制度

パワーアップ・市民活動応援事業
応募の手引き

募集期間

2019 年 1 月 7 日（月）～2019 年 2 月 7 日（木）

大津市自治協働課・大津市市民活動センター

1 パワーアップ・市民活動応援事業とは

パワーアップ・市民活動応援事業は、大津市の「協働のまちづくり」を推進するため、市民と行政とのパートナーシップのもと、地域の課題解決やまちの活性化に向けて取り組む、市民団体等の主体的なまちづくり活動（公共サービスの提供）を支援する補助制度です。

2 まちづくり活動のイメージ

- ・地域で子育てを行う環境づくり
- ・文化交流によるにぎわいの創出
- ・自然とふれあう環境学習の推進
- ・古都大津の全国への情報発信活動
- ・住民手作りの特産品開発による地域活性化
- ・助け合い支え合うことができる地域づくり
- ・多文化共生によるまちづくり
- ・自主防犯活動のネットワークづくり
- ・地域資源(自然・歴史・文化遺産・文学等)を活かしたにぎわいの創出
- ・まちづくり活動を行おうとする人材づくり
- ・町家など歴史的建造物を利用した地域づくり
- ・観光ボランティアによる都市観光の振興
- ・地域ぐるみで行う環境再生、防災等のまちづくり
- ・“食”を通じて楽しく健康なまちづくり
- ・世代間、地域間交流によるまちづくり
- ・生涯スポーツの盛んなまちづくり
- ・公共交通を活かしたまちづくり
- ・地域の個性ある景観づくり
- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・など

これまで実施された事業

《共生のまち大津・演劇プロジェクト》

障害者が自ら舞台上に立ち表現する劇団と市民劇団が協力し、演劇公演を行うことで、障害のあるなしを問わず、表現する行為に違いはないことを示し、異文化、多文化を楽しみながら理解していくまちづくりを目的としています。2日間にわたる演劇公演を行うとともに、上映した作品をもとに地域や学校、公共施設等でも出張公演を行いました。



《地域とアートプロジェクト》

成安造形大学の美大生の強みと地域の強みを生かして、堅田をより「面白いまち」にすべく学生と地域が協力して取り組みました。

地域への愛着を育み、アートに関心をもつ住民を増やすとともに、地域外から訪れるお客さんとの交流を図ることを目的として、ギャラリー、ツアーなどのイベントを実施しました。

《瀬田の森～夕涼みフェス～》

地域のコミュニケーションの場や活性化を目的に、びわこ文化公園内のわんぱく原っぱにて、夕涼みをかねた音楽や食、癒しのイベントを実施しました。



3 補助対象事業

本事業の趣旨に沿う事業で、次に掲げる要件を全て満たすものが補助対象となります。

- (1) **大津市内で実施する事業であること**
- (2) 年度内に完了する事業であること
- (3) 同じ事業について、大津市の財源による他の補助金や委託金等及び国・地方公共団体・その他外郭団体（財団法人等）の助成金や委託金等を受けていないこと。
民間の助成金を受けている場合はご応募いただくことができますが、補助上限額が変わることがあるため、ご注意ください。
- (4) 不特定かつ多数の人の利益に寄与する公益性のある活動であること
（特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でないこと）
- (5) 営利を主な目的とする事業でないこと

4 補助の種類

種類	A：スタートアップ部門	B：ステップアップ部門	C：「ワカモノ」チャレンジ部門
対象事業	まちづくり活動に取り組もうとする設立5年以内の団体が、大津市内で実施する活動	まちづくりの活動実績が1年以上ある団体が、大津市内で実施する活動	若者の地域貢献と地域住民とのパートナーシップにより、まちの活性化や地域課題の解決を目指した大津市内の活動
応募	構成員が10人以上で7割以上が大津市民の団体		構成員が10人以上で7割以上が若者（39歳以下の方）の団体
募集資格	<ul style="list-style-type: none"> ●大津市市民活動センターの団体情報に登録している団体 ●大津市内に活動拠点をもち団体（C：「ワカモノ」チャレンジ部門を除く） ●事業の計画・実施・実績報告及び報告会の出席・報告に至るまで責任を持って遂行できる団体 ●国およびほかの地方公共団体でないこと ●宗教活動や政治活動、営利を目的とした団体でないこと <p>※今回の募集に対して応募できるのは、1団体1部門1事業となります。</p>		
等	補助対象経費から、事業収入および対象外経費を差し引いた額の 1/2 以内で、上限 40 万円		補助対象経費から、事業収入および対象外経費を差し引いた額の 2/3 以内で、上限 20 万円

5 補助対象経費

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| (1) 賃金 | 事業実施のために臨時に必要となるアルバイト等の人件費 |
| (2) 報償費 | 講師・専門家・ボランティア等への報酬・謝礼金（交通費含む）等 |
| (3) 消耗品費 | 用紙等の消耗品、資材等の購入費、会議時の湯茶代（ペットボトル飲料等） |
| (4) 印刷製本費 | ポスター・チラシ・資料等の印刷代・コピー代 |

- (5) 役 務 費 事業実施に係る通信料・運搬料（切手代等）、手数料（振込手数料等）、保険料等
- (6) 委 託 料 団体構成員で行えない業務の外部委託費
- (7) 使用料・賃借料 会場等の使用料、機器類の賃借料
- (8) 備品購入費 補助事業のために必要とする備品の購入費（スタートアップ部門のみ対象）
- (9) 交 通 費 補助事業のために必要とする団体構成員の交通費
- (10) 上記(1)から(9)までの項目以外に、事業実施のために必要な経費で、審査委員会で必要かつ適切と認められたもの

●注意事項

- (1) 収支予算書の内訳欄に、算出根拠となる単価や数量を記入してください。
- (2) 賃金は、「賃金」を除く補助対象経費の総額の10%以内とします。
（「賃金」を除く補助対象経費の総額が50万円の事業の場合、賃金は5万円まで補助対象として認められます。）
- (3) 屋外での活動や危険な行為が伴う活動は保険に加入してください。
- (4) 単価（1件）5万円以上のものは見積書を添付してください。（賃金・報償費除く）
- (5) 補助事業に必要なホームページの加工費は5万円以内とします。
- (6) 会場等の使用料は料金のわかるものを添付してください。（パンフレット・会場のHPなど）
- (7) 備品（例：カメラ・パソコン・プリンタなど）は購入価格1万円以上のものをいいます。なお、備品を購入する場合は、補助事業に必要な理由を予算書に記入するとともに、購入するものがわかるパンフレットなどを添付してください。（ただし、スタートアップ部門のみで、合計3万円以内とする。）
- (8) 交通費は、合計2万円以内とします。

6 補助対象外経費

- (1) 団体の経常的な運営経費（事務所の家賃・光熱水費・電話代、ホームページ管理費、雑誌・新聞購読料、団体運営のために雇用している者の人件費等）
- (2) 団体構成員に対する人件費・謝礼等
- (3) 備品購入費（スタートアップ部門のみ一部補助対象）
- (4) 食糧費（食事代、菓子代）
- (5) 土地・建物等の購入費・工事費・修繕費等及び団体の所有する備品などの修繕費等
- (6) 参加者に景品などを配付するための経費等
- (7) 領収書・明細書がないなど、事業実施団体が支払ったことが確認できない経費

7 募集期間

全ての部門共通で、2019年1月7日（月）～2019年2月7日（木）
（日曜日を除く9時から19時まで）

8 応募方法

提案書は津市自治協働課または津市市民活動センターで配布。
津市のホームページと津市市民活動センターのホームページからもダウンロードできます。

提案書提出時に事業内容についての簡単なヒアリングを行いますので、**直接大津市市民活動センターまで書類をお持ちください。(郵送等による提出はできません。)**

※提出にあたっては、事前にご連絡をお願いします。

※公開プレゼンテーション審査の発表順は、**提案書の受付順**となります。

相談窓口：大津市市民活動センター（明日都浜大津1階）

※上記の募集期間中、制度の概要説明や申し込み手続き等についても、随時相談を受け付けます。

(事前にご連絡をお願いします。)

9 提出書類

- 大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助事業提案書（様式第1号）
- 事業計画書（A・C部門は様式第2号、B部門は様式第2号の2）
- 収支予算書（様式第3号）
- 暴力団等の排除に係る誓約書兼承諾書（様式第3号の2）
- 団体構成員名簿（様式第3号の3）
- 団体規約
- 活動実績がわかる資料等
- 応募チェックシート（団体欄にチェックしてください。）

※**提案書を電子データでも提出してください。**

（メールにて提出。添付資料等で提出困難な書類は除く。）

mail : moveinfo@movement.otsu.com

10 審査・選考方法

● **審査委員会の構成**…公募市民、市民活動に関する有識者、NPO関係者、企業関係者、行政で構成する「大津市協働提案事業審査委員会」が審査・選考します。

● **審査**…1次審査（書類審査）及び2次審査（公開プレゼンテーション）により行います。

※公開プレゼンテーション審査について

2019年3月22日（金） 明日都ふれあいプラザ4階ホール

応募団体による公開プレゼンテーションの後、質疑応答になります。すべての公開プレゼンテーション・質疑応答が終了後、非公開の審査委員会を開催し、採択された事業を当日発表します。

※審査委員会委員及びその3親等以内の親族が応募団体の構成員になっている場合は、審査の公平性を期すため、自主申告により、その審査から外れるものとします。

※提案書の記入にあたっては、具体的に、わかりやすい表記に努めてください。

【公開プレゼンテーションの発表方法】

- ・パソコン、模造紙等により発表していただきます。**提案書提出時に**発表方法をお知らせください。
- ・パソコンを利用した発表ができますが、動作確認のため、**指定の期日までに**電子データをメールにて送付ください。（使用可能なソフト：PowerPoint2010・Excel・Word。メールを送付いただく前にご連絡ください。）

- 発表用のマイク、ホワイトボード（&マグネット）、ノートパソコン、プロジェクター、スクリーンはこちらでご用意いたします。準備等の関係上、パソコンの持ち込みはご遠慮ください。
- 発表時間は、1次審査を通過した団体数によりますが、おおむね10分発表、10分質疑応答の計20分ほどになります。

●審査委員会では、次の5つの審査項目に沿って採点し、候補事業を選考します。

事業の企画や提案書の作成、プレゼンテーションの際の参考にしてください。

(1) 公益性・公共性

…不特定多数の市民やまち・地域への利益や貢献度、事業の必要性やニーズなど

(2) 実現性・計画性

…事業の内容の計画性、事業の実施体制、適切な予算計画・内容、事業実施のための自己資金の確保など

(3) 先駆性・発展性

…事業の内容の先進性・アイデアや創意工夫、他の団体との連携による事業の充実、多様な人材のまちづくり活動への参画、他の活動への波及性など

(4) 事業効果・有効性

…費用に対する効果、事業実施後のまちや地域の変化、具体的な数値での成果など

(5) 事業の継続性・団体の自立性

…事業を継続するための工夫、今後の団体の活動計画、団体の活動が自立・継続するための資金計画など

記入例

すべてA4版で提出

様式第1号(第7条関係)

大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助事業提案書

2019年1月10日

(宛先)

大津市長

(応募団体)

(1)所在地 〒520-8575

大津市御陵町3-1

(2)団体の名称 ○○学区の安心・安全プロジェクトチーム

(3)代表者 大津太郎 印

住所 大津市○○町○-○

TEL ○○○-○○○○

E-mail ○○○○@otsu.com

印は団体の代表者の印
(代表者の個人印は可、
団体の印は不可)

2019年度大津市パワーアップ・市民活動応援事業補助事業として、下記のとおり企画を提案します。

記

1 企画提案する事業の名称 ○○学区の安心・安全プロジェクト

2 提案事業の部門

A: スタートアップ部門

B: ステップアップ部門

C: 「ワカモノ」チャレンジ部門

収支予算書(様式第3号)の
収入の③大津市補助金の額

3 補助申請予定金額 186,900円

4 企画提案する事業の完了予定年月日 2020年 3月 1日

事業終了後、実績報告書が
提出できるまでの日(202
0年3月31日以前)

5 補助採択実績

A: スタートアップ部門 (旧; 頑張ってみよう部門を含む)

採択回数: 0回

B: ステップアップ部門 (旧; さらに頑張るぞ部門を含む)

採択回数: 0回

C: 「ワカモノ」チャレンジ部門 (旧; 学生部門、若者応援部門を含む)

採択回数: 0回

6 関係書類

(1) 事業計画書 (A・C部門は様式第2号、B部門は様式第2号の2)

(2) 収支予算書(様式第3号)

(3) 暴力団等の排除に係る誓約書兼承諾書(様式第3号の2)

(4) 団体構成員名簿(様式第3号の3)

(5) 団体規約等

(6) その他市長が必要と認めるもの

団体の活動がわかる資料や報道記事、
法人の場合は登記簿の写し、提案する
事業の関係資料(見積書、パンフレット、講
師プロフィール)など

様式第2号（及び様式第2号の2）の全ての欄は、枠の大きさを自由に拡大していただいて構いません。項を横断する形になっても結構です。

※『A：スタートアップ部門』又は『C：「ワカモノ」チャレンジ部門』の場合は、様式第2号にご記入ください。

様式第2号の2（第7条関係）

事業計画書(B：ステップアップ部門)

<p>社会課題・地域課題</p>	<p>〇〇学区では、旧市街地である△△地域と新興住宅地である□□地域との連携が上手く取れておらず（高齢者と若者世代の連携が上手く取れておらず）、安心・安全なまちづくりのために意見を交わす機会や協力して事業を行う機会がない。 また見通しの悪い生活道路が多いこともあり、昨年は△△件の子どもの交通事故が発生した。これは、人口比を踏まえながら他学区と比較しても、多い件数である。</p>
<p>事業の主旨、目標 [社会、地域の将来像]</p>	<p>（事業を通してどのような「まち」にしたいか。） 〇〇学区の地域全体で協力して安心・安全なまちづくりに取り組む体制、また地域の子どもたちを地域全体で見守る体制を整えたい。 （事業を通してどのような人材を育成し、活躍させたいか。） 〇〇事業を実施することにより、安心・安全なまちづくりに関心を持ち、活動に参加する住民を増やすとともに、参加者がワークショップやイベントの企画、運営側として地域で活躍できるようにしたい。</p>
<p>補助年度の事業概要</p>	<p>（上記の目的を達成するために、補助年度にどのような目標を設定し、事業を実施するか。） ①地域の繋がりを作るために、〇〇学区住民や〇〇学区勤務者などを対象としたワークショップを開催し、安心・安全という共通のテーマについて話し合う。 ②子どもたちに交通安全に関する啓発をするために、また地域全体で子どもたちを見守る体制を作るために、地域の各種団体と協力して交通安全教室出前講座を実施する。</p>

詳細な事業内容

<p>（日時、場所、催し物、実施方法、対象者、参加予定人数、参加費、宣伝方法など具体的に）</p> <p>① 安心・安全セミナー・ワークショップの開催 日時：2019年7月19日、2019年11月15日 13時～ 場所：〇〇センター 実施内容：〇〇大学〇〇教授から「〇〇〇〇〇〇」と題した講義 その後、6人毎のグループになり、安心・安全をテーマに〇〇学区の現状や課題、解決策を考えるワークショップを実施する。NPO法人〇〇〇〇〇〇にファシリテーターをお願いする。 実施体制：実施団体他、協力団体から応援を含め●●人、学生ボランティアスタッフ●●人で実施する。 対象者：〇〇学区住民、〇〇学区勤務者など 参加予定人数：各50名 参加費：500円 宣伝方法：〇〇学区安心・安全ニュースを作成し全戸配付 自治会回覧板・掲示板でのチラシ・ポスターによる案内チラシ 〇〇〇部 案内ポスター 〇〇〇部 作成 その他、報道機関への宣伝</p> <p>②交通安全教室出前講座 回数：年6回 場所：〇〇幼稚園・■■幼稚園・・・ 実施内容：演劇で交通安全教室の開催 演劇後、子どもたちと交通安全紙芝居を一緒に作る。 実施体制：当団体他、幼稚園PTA、●●大学ボランティア、寿会、商店街組合、約●●名で実施する。 対象者：〇〇幼稚園児・保護者・・・など 参加予定人数：各回40名、計240名</p>	<p>どのような事業を実施するのか書面でわかるように、具体的に記入してください。予算書（様式第3号）の内容と合うようにしてください。 元の枠の大きさを書き切れない場合は、拡大していただき、複数のページになっても構いません。</p>
---	---

これまで団体が実施してきた事業との違い

(事業内容、事業効果、事業の実施方法等の視点から、違いや工夫点を御記入ください。)

- ① これまでも何度か「安心」「安全」をテーマにしたワークショップを実施してきたが、テーマが漠然としていたこともあり、もともとこのテーマに関心のある一部の参加者からしか意見を引き出せなかった。今年度はNPO法人〇〇〇にファシリテーターとして協力していただくことで、少しでも多くの参加者から意見を引き出し、参加者同士の意見交換、繋がり作りに寄与するワークショップにする。
- ② 昨年度までは地域の子もたちの安全のために、通学児童の横断誘導を定期的に行っていたが、実施できる時間に限りがあった。子どもたちの安全のためには、まずは子どもたち自身が交通安全についての知識を持ち、日常的に意識することが必要であると考えたため、「交通安全教室出前講座」を通して啓発活動を行う。講座では、子どもたちが単なる聞き手に終わるのではなく、交通安全紙芝居を作る側にもなることで、交通安全の重要性を実感してもらい、当事者意識の醸成に繋げる。
また、学生のボランティアをはじめとする地域の各種団体に企画、運営段階から参加していただくことにより、地域全体が子どもの安全についての関心を持つように促し、子どもを日常的に見守ることができる体制作りに繋げる。
講習の最後には、子どもたちと運営側の大人との簡単な親睦会を行うことにより、子どもたちが安心して関わるができる大人を地域の中で作る。

事業のスケジュール

月 次 計 画 備 考	4月	チラシの作成 チラシを近隣幼稚園・保育園に配付、近隣学区自治会での啓発チラシ配り
	5月	交通安全教室出前講座の開催(1)
	6月	交通安全教室出前講座の開催(2)
	7月	第1回 安心・安全セミナー・ワークショップの開催
	8月	チラシの作成 チラシの全戸配付、近隣学区自治会での啓発チラシ配り
	9月	
	10月	●●●●の開催 交通安全教室出前講座の開催(4)
	11月	第2回 安心・安全セミナー・ワークショップの開催
	12月	
	1月	交通安全教室出前講座の開催(5)
	2月	交通安全教室出前講座の開催(6)
	3月	実績報告書の提出
備考	毎月1回(第2日曜) 運営会議の開催	

月別に活動概要を記入してください。「詳細な事業内容」と「予算書(様式第3号)」の内容と合うようにしてください。

2019年度の補助終了後の展望をご記入ください。
1年目=2019年度
2年目=2020年度
3年目以降=2021年度以降

補助年度後の展望計画

事業目標をどのように設定し、どのような事業を行っていくか。	
1年目	学区全体での取り組みになることが重要であるため、協力者を〇〇人に増やす。そのために、2019年度に実施した事業の実績も提示しながら、まだ不参加の地域の各種団体に対して、説明、広報活動に積極的に赴き、本事業に協力してくれる個人、団体を増やす。
2年目	なかなかワークショップや出前講座活動に参加していただけない方にも、安心・安全のまちづくりについての知識を持っていただけるようにするために、2019、2020年度に実施した事業から報告書を作成し、学区全体に配布し、活動内容の周知を行う。
3年目以降	学区外からも一定の評価を得ている取り組みであることを参加者に実感してもらい、安心・安全のためのまちづくりにより意欲的に取り組んでいただくために、積極的に学区外にも活動を発信する。これまでの事業実績からマニュアルを作成し、他の地域へもノウハウを拡げていく。
事業が継続するように、また団体が自立できるように、どのような工夫を行っていくか。	
1年目	上記の人的ネットワークの整備を行う中で、コアに協力してくれる若者を当団体の加入に勧誘し、後継者の獲得に努める。
2年目	交通安全教室出前講座において一定の評価を得られるようになれば、要請をいただいた幼稚園などから講座料を徴収し、次年度の①ワークショップの開催費用（消耗品代等）に充てるというサイクルを作る。
3年目以降	事業の継続、団体の自立のために欠かせない「資金面」「人材面」等の観点から、2021年度以降にどのような工夫を行っていくかの計画をご記入ください。

他団体、大津市との連携

他団体との連携 (それぞれの団体の役割分担)	〇〇学区の安心・安全プロジェクトチーム…企画運営・事務局担当 〇〇学区自治連合会・〇〇子ども会・〇〇女性会…人的支援 〇〇学区内自治会…広報担当 〇〇大学…子どもへの安全啓発、セミナー講師 NPO法人〇〇〇…ワークショップのファシリテーター
市役所の 連携したい部署 とその理由	部署名 危機・防災対策課、自治協働課
	連携したい理由 危機・防災対策課…災害対策についての情報の教授 自治協働課…交通安全教室（カンガルークラブ）の指導法の教授

その他アピールポイント

<p>（「大津市協働提案制度パワーアップ・市民活動応援事業 応募の手引き」に記載されている審査項目も参考にしてください、自由に御記入ください。）</p> <p>〇〇学区の住民全員を対象として安心・安全のまちづくりのために実施する事業であり、公益性・公共性が高い。事業の実現に向けて、地域の各種団体との協力体制は既に確立している。</p> <p>セミナー参加費を徴収するなど、補助制度終了後も団体が自立できるように準備を進めている。</p> <p>提案する事業について、それぞれの審査項目（P.4参照）に応じて、アピールできる内容を記入してください。 1ページでまとまらない場合は、複数のページに渡っても構いません。</p> <p>その他、特筆すべき活動実績（表彰、各種メディアへの掲載、他の補助制度の取得等）があれば御記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> △△テレビ 2018年7月2日 ニュース大津「今日の市民活動コーナー」にて活動を取り上げられる。 □□新聞 2017年5月1日 朝刊 掲載（別添記事参照） 平成29年度 滋賀県〇〇助成金 採択 助成額△△△円
--

収 支 予 算 書

賃金は、「1賃金」を除く補助対象経費の総額（2～9の和=395,000円）の10%以内

支出

（単位：円）

	科 目	金 額	内 訳
1	賃 金	28,800	安心・安全セミナー・ワークショップ当日バイト代 @800×3h×6人×2回=28,800円
2	報 償 費	120,000	〇〇大学〇〇教授 @30,000×2回=60,000円 NPO法人〇〇〇 @30,000×2回=60,000円
3	消 耗 品 費	85,000	事務用消耗品（チラシ用紙・文房具・模造紙・紙芝居材料代など）75,000円 会議お茶代 @100×10人×10回=10,000円
4	印 刷 製 本 費	110,000	マップ作成費 50,000円（500部）※見積書添付 チラシ作成費 50,000円（1,000部）※見積書添付 資料コピー代 @10×1000枚=10,000円
5	役 務 費	10,000	保険料 @5,000円/日×2回
6	委 託 料		
7	使用料・賃借料	50,000	〇〇センター使用料 大ホール（安心・安全セミナー・ワークショップ） @5,000×3時間×2回=30,000円 小会議室（運営会議） @1,000×2時間×10回=20,000円
8	備品購入費 (※経理長ってみよう部門のみ)		(補助事業に必要とする理由)
9	交 通 費	20,000	構成員交通費（〇〇-△△間、□□-●●間）
①	合 計 (①=⑤)	423,800	

会場使用料のわかる資料を添付

交通費は2万円以内

※必要経費の積算根拠を確認するため、別途必要資料を提出願うことがあります。

収入

(単位：円)

名 目	金 額	内 訳
② 事業収入	50,000	セミナー参加費 @500×50名×2回=50,000円
③ 大津市補助金	186,900	
④ 自己資金 (①-(②+③))	186,900	団体活動資金(入会金、会費、寄付金)
⑤ 合 計 (①=⑤)	423,800	
補助金計算式	(①支出合計-②事業収入)×補助率=③大津市補助金 (423,800円-50,000円)×1/2=186,900円 (上限額400,000円) ※1円未満は切捨て	

※②事業収入…参加費、入場料など

B：ステップアップ部門 補助率 1/2

暴力団等の排除に係る誓約書兼承諾書

2019年1月10日

(宛先)
大津市長

[法人、団体にあつては事務所所在地]

住 所 大津市御陵町3-1
[法人、団体にあつては法人・団体名、代表者名]

(ふりがな) 〇〇がっくのあんしん・あんぜんぷろじえくとちーむ おおつ たろう
〇〇学区の安心・安全プロジェクトチーム

氏 名 大津 太郎 (印)
[代表者の生年月日・性別]

生年月日 昭和40年 5月 1日 性別 (男・女)

私は、大津市協働提案制度パワーアップ・市民活動応援事業補助金の交付申請にあたり、下記の項目の要件に該当しないことを誓約するとともに、下記に該当するか否かに関し、大津市が滋賀県警察本部に必要な照会をすることについて承諾します。

なお、申請後において、該当していることが判明したとき及び該当する事態になったときは、速やかに貴職宛申し出るとともに、同補助金の交付を取り消されることがあっても、何ら異議のないことを誓約します。

記

- 1 自己又は自社若しくは自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。
 - (1) 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)
 - (2) 暴力団員(法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)
 - (3) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用している者
 - (4) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与している者
 - (5) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - (6) 前各号のいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者

団体名 _____

団体設立 (活動開始) 年月日
(うち法人の場合は登記年月日)

年 年 月 月 日 日

構成員名簿

番号	住所	役職名	氏名	フリガナ	生年月日			年齢	性別	備考
					元号	年	月			
例	大津市御陵町3-1-101	事務局長	オオツ タロウ	大津 太郎	S	40	5	1	男	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
割合										

法人の場合は、登記簿の写しを添付してください。

10人を超える場合はコピーして人数分記入してください。
事業計画書1ページ目の団体の構成員数と合わせてください。
住所・年齢は提案書提出日時点のものを記入ください。

(A・B部門はご記入ください。) 大津市在住の会員の割合 約 %

(C部門はご記入ください。) 39歳以下の会員の割合 約 %

パワーアップ・市民活動応援事業 応募チェックシート

団体名 ()

書類等	確 認 事 項	団体	市
応募前	大津市市民活動センターに登録したか。		
	大津市の財源による他の補助金や委託金等及び国・地方公共団体・その他外郭団体（財団法人等）の助成金や委託金等と併用していないか。		
	提出書類は全てA4版のサイズか。（提出部数1部）		
提案書	大津市内に活動拠点（団体の所在地）を有しているか。※『C：「ワカモノ」チャレンジ部門』を除く。		
	団体の所在地と規約等に記載されている団体の所在地とは一致しているか。		
	印鑑は団体の代表者の印であるか。（団体の印ではないか。）		
	補助申請予定金額は収支予算書の③大津市補助金と同額であるか。		
事業 計画書	完了年月日は翌年3月31日までであるか。		
	補助事業の実績は、同じ部門（前身の部門も含めて）で3回以上採択されていないか。 （※採択回数には前身の団体含む（団体の名称変更や法人化等））		
	団体設立（活動開始）年月日と規約等の設立年月日とは一致しているか。 法人の場合は、法人の登記年月日と登記簿の年月日とは一致しているか。		
	『A：スタートアップ部門』で応募の場合は、応募時点で設立6年を超えていないか。		
	団体の構成員は10人以上であるか。		
収支 予算書	実施する場所は大津市内であるか。（詳細な事業内容の場所など）		
	提案する事業の経費のみを計上しているか。団体全体の事業の経費や団体の経常的な運営経費を計上していないか。		
	補助の対象とならない経費が計上されていないか。		
	内訳欄に算出根拠となる単価や数量を記入しているか。また、円単位で記入しているか。		
	賃金を計上している場合は、賃金を除く補助対象経費の合計の10%以内であるか。		
	単価（1件）5万円以上の費用を計上している場合は、見積書を添付しているか。		
	危険な行為や屋外での活動がある場合は、保険料を計上しているか。		
	会場等の使用料は料金のわかる資料を添付しているか。		
	備品購入費を計上している場合（『A：スタートアップ部門』のみ）は、合計3万円以内であるか。また、購入予定の備品のパンフレット等を添付しているか。		
	交通費を計上している場合は、2万円以内であるか。		
構成員 名簿	支出の合計額と収入の合計額が同じか。		
	補助金計算式、補助金額が正しいか。（補助率、上限額など）		
	詳細な事業内容・事業のスケジュールと収支予算書の整合がとれているか。（講師の招聘回数や会議室の使用回数など）		
添付 資料等	氏名の前に団体の役職名を記入しているか。また、規約等の役職数と一致しているか。		
	『A：スタートアップ部門』、『B：ステップアップ部門』の場合、大津市民が構成員の7割以上であるか。		
	『C：「ワカモノ」チャレンジ部門』の場合、若者（39歳以下の方）が構成員の7割以上であるか。		
添付 資料等	団体の規約等の写しを添付しているか。		
	法人の場合は、登記簿の写しを添付しているか。		
	提案書の電子データはメール送付（3MB以内）したか。		

大津市 市民部 自治協働課

〒520-8575 大津市御陵町3番1号

電話：077-528-2730 FAX：077-523-0411

メール：otsu1130@city.otsu.lg.jp

大津市市民活動センター

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号

電話：077-527-8661 FAX：077-527-8662

メール：moveinfo@movement.otsu.com

※本事業についての問い合わせは、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。